

各位

上場会社名 株式会社駅探
代表者 代表取締役社長 中村 太郎
(コード番号 3646)
問合せ先責任者 取締役コーポレート部長 秦野 元秀
(TEL 03-6367-5951)

平成26年3月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成25年8月9日に公表しました平成26年3月期第2四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)の業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,240	167	163	100	16.16
今回修正予想(B)	1,291	211	211	130	21.05
増減額(B-A)	51	44	48	30	
増減率(%)	4.2	26.6	29.8	30.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	1,266	117	114	69	10.95

修正の理由

平成26年3月期の第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異につきましては、主に駅探モバイル事業では、乗り換え案内サービスにおきまして、携帯電話キャリアの販売施策に合わせて積極的に広告販促費を投下し、高単価メニュー「駅探プライム」コースの拡販に注力した結果、想定以上に有料会員数を確保できたこと、および7月よりサービスを開始しました会員限定の優待割引特典を利用できる新サービス「駅探バリューDays」におきまして、有料会員登録数が計画を上回るペースで推移したこと等により売上が向上しました。ASP・ライセンス広告事業では、ASP・ライセンス事業におきまして、既存顧客への乗換案内ASPサービスの提供が堅調に推移したこと、およびデータ運用業務の受託や交通事業者からの案件を受注できたこと、ならびに広告事業におきまして、代理店を通じた提携案件および直販共に順調に受注が拡大したこと、およびスマートフォンを介したPCサイトのページビューが増加するなど実績型の広告も堅調となり売上が増加したこと等により、前回発表予想を上回りました。

なお、通期に関しましては、前回発表予想を変更しておりませんが、その理由としましては、以下のとおりであります。当社は、今期第2四半期にいくつかの新サービスを開始しておりますが、当該新サービスは開始して間もないため販促効果が不確定であり、またその影響で従来の乗換案内サービスにおいて有料会員の獲得数が下振れする懸念があります。加えて、下期に見込んでいた新規事業の案件獲得に下振れ懸念が出てきたこと、消費税増税に伴う「二重運賃」対応コストの増加が見込まれること等、現時点におきまして不確定な要素があるためであります。

(注)本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上